

この度はDMS-T316をお買い上げいただき、ありがとうございます。取り付ける前に、この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

■本製品の適合と主な特徴

メーカー	車種	型式	年式	取付場所
トヨタ	アルファード	AAHP45W/AAHH40W/ AAHH45W/AGH40W/AGH45W	R05/06-	フロントドア専用
	ヴエルファイア	AAHP45W/AAHH40W/ AAHH45W/TAHA40W/TAHA45W	R05/06-	フロントドア専用

- ・車種専用のシンプル設計なので特殊な工具がなくても施工できます。
- ・ドアパネルのサービスホール等に加工を施さないので、メンテナンスの際に簡単に純正に戻せます。
- ・軽い素材なので取り付けても車に負担がかかりません。
- ・エアバッフルマットは自動車用内装材料の難燃性試験に合格した素材を使用しています。

※自動車用内装材料の難燃性試験成績書は弊社Webサイトにて公開しています。

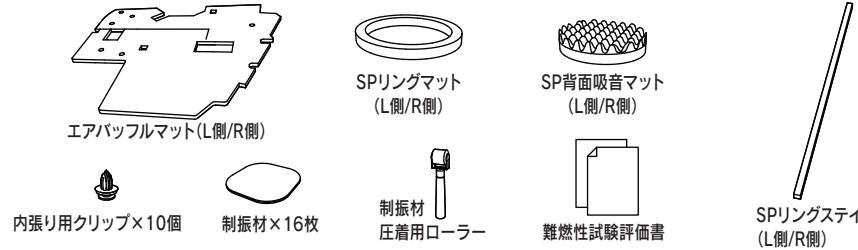
■注意事項

- ・内張りを外した際に外したカブラーやケーブルは確実に元に戻してください。
- ・カブラーを抜くときはロック部分を押しながら、カブラーを持って抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると、断線やカブラーから配線が抜ける恐れがあります。
- ・ドアロックケーブルとドアオープケーブルは確実に元に戻してください。
(ドアが開かなくなったり正常に機能しなくなる恐れがあります。)
- ・ドア内張りを戻す際は、クリップとドアパネルの穴の位置をしっかりと確認して取り付けてください。(位置がずれるとクリップやクリップ土台の破損の原因になります。)
- ・スピーカーからの音が内張りなどに干渉して出た余分な音を抑制するため、音が小さくなつたようを感じることがありますが、スピーカーからの純粋な音のみがでているという現象であり、エアバッフルの効果の一部となります。
- ・イコライザー調整などは3時間程度時間をおいてから行ってください。
- ・適合年式はモデルチェンジなどで変わることがあります。最新の情報は弊社Webサイトでご確認ください。
- ・本製品は梱包時の状況により剥離紙の表面に亀裂が生じる場合がございますが、製品の性能や品質には問題ございません。

■仕様

マット材質:NBR(難燃性試験合格品)

■同梱品



※取扱説明書通りに取り付けた場合、クリップ及び制振材は余ります。予備としてご利用ください。

① 取外し方 (写真はアルファードです。)

1. 内張りの取外し方

- ①樹脂カバーを外す(ドアフレーム部1枚/ドアハンドル部1枚/アームレスト部1枚/操作パネル部3枚)
- ②ネジを4か所外す(ドアハンドル部1か所/アームレスト部2か所/ドアフレーム固定部1か所)
- ③内張りを外す(クリップ位置12か所)
- ④ドアオープケーブルを外す(クランプの嵌合を外してから球部を外す)
- ⑤ドアロックケーブルを外す(内張り裏側に固定ネジ1か所外し爪の嵌合を外して引き抜く)
- ⑥カーテーショランプのカブラーを外す(1か所)
- ⑦運転席側のみシートスイッチモリヤーのカブラーを外す(ドアハンドル部裏1か所)

※車両パーツなどの取外し方法は仕様やグレードにより異なることがあります。

詳しくはカーディーラー等でご確認ください。



2. スピーカーの取外し方

- ①スピーカーについているカブラーを外す。
- ②スピーカーを固定している4か所のネジを外す。
- ③スピーカーを落とさないようにドアパネルから外す。



スピーカーの固定がネジではなくリベット止めの場合

※スピーカーの固定が、ネジ止めとリベット止めの2種類があります。
リベット止めの場合は、スピーカーを無理に外さなくても本製品をお楽しみいただけます。
※一度取り外したリベットは再使用できません。
スピーカーは再度リベット止めし直すか、市販のスピーカー固定用ボルトなどで固定してください。
※本製品にはスピーカー固定用のリベットやボルトなどは同梱しておりませんので別途ご準備ください。

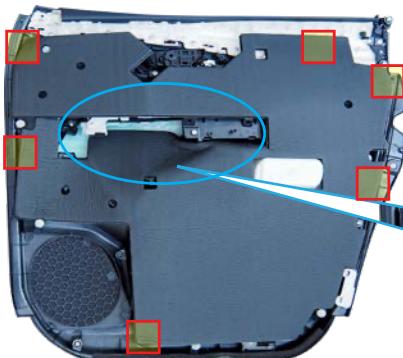
② 製品の取付け

説明は運転席側ですが助手席側も同様に取り付けてください(写真はアルファードです。)

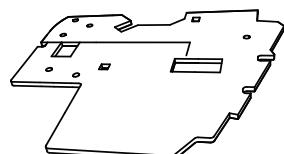
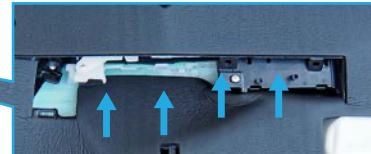
1. 内張りに本製品を取り付ける

剥離紙はがし箇所

エアバッフルマット(L側/R側)を貼り付ける※剥離紙を全てはがさないように注意



※切込み部分を利用してエアバッフルマットを内側に押し込む



エアバッフルマット(L側/R側)

剥離紙を全てはがさないよう注意してください



製品全体に両面テープはありますが、剥離紙を全てはがしてしまうと内張りやインナーパネルの凹凸に追従しにくくなります。(剥離紙の素材が滑りやすくなっているためドアの凹凸に沿うような構造になっています)

取り付ける際は製品の一部(10cm程度)の剥離紙を数か所はがし、内張りを立てた際に外れない程度に内張りや内張り内部部品に貼り付けてください。



より効果的な音質の向上を求める方へ(制振材の使用方法)

付属の制振材をお好みの面積の広い場所または振動が気になる場所に貼り付けてください。

貼る場所によっては制振材をはさみで切ってご使用ください。

下図を参考にスピーカー周辺や面積の広い場所に貼るのが効果的です。

制振材の貼付けには付属の圧着用ローラを使用し、制振材表面の凹凸が無くなるまで押し付けてください。

※制振材16枚の内、2枚はスピーカー裏に使用します。残りの14枚をご使用ください。



2. SP背面吸音マットをスピーカー裏ドアパネルに取り付ける

A. 制振材を貼る

B. SP背面吸音マットを貼る(右写真参照)

※スピーカーがリベット止めされている場合、無理に取り外すことはせず背面吸音マットは貼らないでください。背面吸音マットを取り付けなくてもエアバッフルの効果を得ることができます。



※制振材とSP背面吸音マットはパイプなどを避けてなるべく平らな面に貼ること。

3. スピーカーの周りにSPリングステイを貼る

※巻き始めはカブラー横から行い、カブラー部分に被らないように貼ってください。



4. SPリングステイを貼ったスピーカーを元に戻し、スピーカーの周りにSPリングを貼る



※ネジを締める際は、SPリングステイがネジに巻き込まれないよう注意し取り付けてください。

※注意:スピーカー内部の振動部分に触れないように取り付けてください。

5. 本製品を取り付けた内張りを取り外しと逆手順で元に戻す

※内張りのクリップのストッパーが効かなくなったら場合、押し戻される場所のクリップを付属の新しいクリップと交換して内張りを戻してください。

取付けが不完全の場合ドアの開閉ができなくなります

ドアオープンケーブルは確実に元に戻してください。

ケーブル固定部分の奥までケーブルをしっかりと押し込んでください。



※作業中にドアハンドル部が外れた場合は、そのまま戻さず、内張りにしっかりと固定してから作業を再開してください。

③ 音の調整

1. 音の調整をする(取付けから最低3時間後)

内張り、インナーパネルの形状にフィットして密着するまで約3時間程度となります。

DSPなどを使って音調整を行うときは3時間以上置いたのち音調整を行うことを推奨します。

(取付直後に音調整してしまうとその後、音が変化してしまう可能性があるため)

※エアバッフルが不要な振動や干渉音を抑え、スピーカー本来のクリアな音を引き出します。

本製品の取り付け後は、その効果によって音が小さく感じことがあります。